

市商連ニュース

令和6年7月1日 No.118

一般社団法人 川崎市商店街連合会

<https://k-shouren.jp/>

☎044-548-4107

川崎市議会との意見交換の実施

川崎市への予算要望に関して川崎市議会各会派議員との意見交換会を、今年度も実施します。物価の高騰や実質賃金の伸び悩みにより、売上にも影響を受けている商店街の現状を説明し、商店街への支援強化などについての要望及び意見交換を行います。主な内容として、

- ・商店街の街路灯の補助制度拡充
 - ・アーケード内街路灯広告の許可
 - ・防犯カメラ設置・維持の支援強化
 - ・商店街支援策における市商連との連携強化など
- 7月中に実施予定ですので、次回のニュースで結果を報告いたします。

川崎市議会における商店街関係の答弁 (令和6年第3回定例会【代表質問】)

5月から開会した川崎市議会第3回定例会では、6月11日から代表質問が行われ、自民党の末永議員が商店街振興策をテーマに、防犯カメラ、AED設置補助金補助率アップについての経緯や効果について、また市商連団体補助金が10%カットされたことについての市の考えについて質問が出されました。防犯カメラやAEDの補助率アップについては、商店街地域の安全安心に寄与するため実施したもので、昨年市商連からの要望が補助率アップの契機になったとのことであり、私たちの地道な要望活動が実を結んだと言えるでしょう。

市商連への団体補助金については、今年度は「川崎市補助金・助成金見直し基準」により減額となったが、市商連は商業振興を進める上で重要な役割を担っており、活動が円滑に行えるよう効果的な取組について協議していくとの答弁がありました。

今後市商連と市の担当で、商店街支援に関する意見交換会を複数回実施する予定で、すでに第1回は先日開催されました。経過について今後皆さんに御報告していきます。

商店街活動指針づくり

商店街活動の見直しや今後の商店街のあり方、活動方針などについて、商店街のメンバーと専門家を交えて検討会や意見交換などを行い、商店街の将来像を策定して、地域の住民や商店街の利用者に商店街の皆さんの考え方を情報発信するものが、この指針づくりとなります。市商連が専門家（中小企業診断士等）を派遣し、「会員を後の商店街の活動について悩んでいる」等の商店街の悩みを解決するための指針を一緒に作ります。派遣費用と成果物の印刷費は市商連で負担します。問合せ・申込みは市商連事務局まで。



課題対応事業補助金の募集

この補助金の「地域連携強化事業」が募集中です。商店街団体等又は地域が抱える課題解決を目指し、連携をスタート又は強化する取組が対象で、連携する民間事業者等から申請することも可能な制度です。補助率は2/3以内、補助限度額は20万円、対象経費等の詳細はホームページから公募要領をご確認ください。令和7年1月31日までの先着制ですので、活用される方はお早めにご申請ください。

【HP】

<https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000164931.html>



【対象事業】 お店体験、買い物困難者への宅配、フードドライブ、デジタルツールを活用した商店街や地域の情報発信、地域の児童や生徒が取材した商店街店舗紹介冊子の作成など

【問合せ】

川崎市経済労働局観光・地域活力推進部

TEL 044-200-2329